



# 各地区の課題解決に向けて 市に要望を行いました

越谷市自治会連合会では、毎年、自治会活動と市行政との協調や円滑な連携を図ることを目的として、各地区の自治会を代表する13地区の支部長が出席し、「市長との懇談会」を実施しています。しかし、今年度は、令和3年1月7日に発令された新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等を踏まえ、感染拡大防止の観点から懇談会は行わず、書面での要望・回答のやりとりとすることとしました。

今年度は、11支部から19件の要望が提出されました。

今後も、自治会連合会では、様々な機会をとらえて地区の皆さんの声を市に伝えるとともに、市と協働によるまちづくりを進めていきます。

## 要 望 一 覧

| No. | 支 部 | 件 名                                         |
|-----|-----|---------------------------------------------|
| 1   | 桜 井 | 災害時における避難所への誘導について                          |
| 2   | 新 方 | 新方川左岸側道 間久里新田橋際の大杉公園通り接続部拡幅について             |
| 3   |     | 新方川左岸道路冠水時の通学路確保について                        |
| 4   |     | 先年（平成28年度請願）、古利根川右岸（越谷市側）の堤防の整備と緑道化の促進について  |
| 5   | 増 林 | 増林地区センター前道路（市道2180号線）の拡幅延伸について              |
| 6   | 大 袋 | 西大袋地域拠点施設（区画整理）の早期整備と、既存施設（地区センター）の維持管理について |
| 7   | 荻 島 | 越谷市立荻島小学校の授業時間確保のための、学校全面移転の対策について          |
| 8   |     | 末田大用排水路歩道の整備について                            |
| 9   | 出 羽 | 武蔵野線南越谷駅から東川口駅間の高架化と側道設置について                |
| 10  |     | 綾瀬川堤防上の舗道整備の促進について                          |
| 11  | 蒲 生 | 蒲生地区（行政区）の瓦曽根地区における公園や施設等の設置について            |
| 12  | 南越谷 | 南越谷小学校の防球ネット設置について                          |
| 13  |     | 出羽堀沿い道路側植込み撤去等について                          |
| 14  | 越ヶ谷 | カラスによる収集ごみ散乱被害への対策について                      |
| 15  |     | 市役所・中央市民会館周辺交差点改良及び周辺道路の整備について              |
| 16  | 大 沢 | （仮称）越谷市立地域スポーツセンター整備計画について                  |
| 17  |     | 歴史公園の早期竣工について                               |
| 18  | 川 柳 | 川柳地区センター・公民館の建替えについて                        |
| 19  |     | 川柳小学校の通学路について                               |

# あってよかった!いざというとき頼れる自治会

令和3年1月7日、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、埼玉県を含む1都3県を対象に、緊急事態宣言が行われました。このような中、自治会の担う役割はますます重要となっています。

自治会は、一定の区域に住む人たちが、住みよい豊かなまちづくりを目指して、地域におけるさまざまな問題の解決に取り組むとともに、地域でのふれあいの輪を広げ、人々の連帯意識の向上に努めている自主的な任意の団体です。

住みよい地域づくりのため、この機会に自治会の良さを見つめ直してみませんか。

自治会の主な活動

- 地域の安全のための防犯活動  
防犯パトロール、登下校時の子どもの見守り活動など
- 災害につよいまちづくり  
自主防災組織をつくり、防災資機材の整備や防災訓練の実施など
- きれいなまちづくり  
定期的な清掃活動、資源回収など
- 楽しい行事やイベントの開催  
スポーツやお祭りなどの地域の交流イベントの開催
- 互いに助け合うやさしいまちづくり  
敬老会事業などにより地域の高齢者世帯とのふれあいを深めることや共同募金などの社会福祉活動への協力
- 地域や市の情報のお知らせ  
自治会からののお知らせや市からの情報などを提供

自治会の重要性

地域の主人公は、そこに暮らしている人々です。そして、同じ地域に住んでいる人たちが、仲良く助け合って暮らしていこうとする考え方は、昔も今も変わっていません。「遠くの親戚より近くの他人」と言われますがいざというときにはお隣さんや近所の人たちが、いちばん頼りになるものです。

また、防災や防犯、ごみ集積所の管理など、地域生活に密着し個人での解決が困難な課題は、自治会全体で悩みを共有することで円滑に対処できる可能性が高くなります。



新型コロナウイルスの感染拡大防止のために



みなさんは新型コロナウイルス感染症予防対策として「新しい生活様式」の実践を心がけていると思いますが、感染を拡大させないために、感染症対策の基本となる手洗いや咳エチケットの徹底など、あらためて私達にできる感染症対策の実践を心がけましょう。

咳エチケット

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。次のような咳エチケットを心がけましょう。



手洗い

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗いましょう。

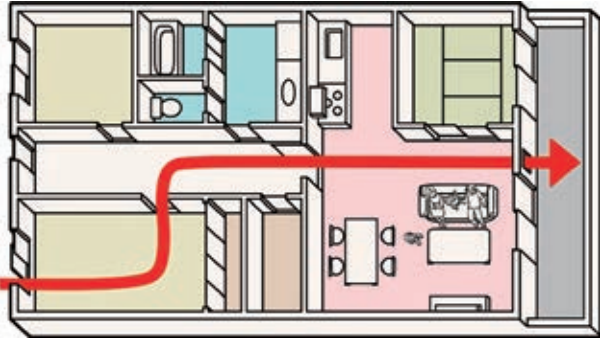


換気

季節を問わず、新型コロナウイルス対策には、こまめな換気が重要です。冬の寒さの中、室温が下がりすぎないように、上手に換気に取り組みましょう。

【窓開けのコツ】

- 窓開けを行うと、一時的に室内温度が低くなってしまいます。暖房器具を使用しながら、換気をしましょう。
- 暖房器具の近くの窓を開けると、入ってくる冷気が暖められるので、室温の低下が防げます。なお、暖房器具の種類や設置位置の決定に当たっては、カーテン等の燃えやすい物から距離をあけるなど、火災予防も忘れずに！
- 短時間に窓を全開にするよりも、一方向の窓を少しだけ開けて常時換気を確保する方が室温変化を抑えられます。この場合も、暖房によって室内・室外の温度差が維持できれば、十分な換気量を得られます。
- 人がいない部屋の窓を開け、廊下を経由して、少し暖まった状態の新鮮な空気を人のいる部屋に取り入れることも、室温維持には有効です。



参考イラスト：人がいない部屋の窓を開け、廊下を経由して、少し暖まった状態の新鮮な空気を人のいる部屋に取り入れる換気方法（２段階換気）の例

出典：厚生労働省ホームページ





宮本町四丁目自治会  
会長 岩間 一男

当自治会は会員相互の地域を創  
るため、年度の行事計画を立案し  
実施しております。

今年度はコロナ禍で、全ての行  
事が中止または縮小され、例年  
ですと「ラジオ体操」、「餅つき大会」  
「地区体育祭参加」、「防犯パトロー  
ル」等の行事を実施してます。以



自治会活動の基本は  
共助の促進



自治会加入率は95%位ですが、  
今年度から自治会の活動内容を会  
員の方々に関心を持ってもらえる  
ように、「宮四自治会だより」を  
発刊し全世帯に配布し近隣の共助  
に役立てていただけるよう、より  
一層努力してまいります。今後も  
高齢化社会及び防災関係の問題  
等、難しい課題が山積みされてお



前住民の方から広場が狭くてイベ  
ントに参加しにくいとの声があ  
がっていましたので、自治会館前  
の川に蓋掛けし広場を設置してい  
たきました。餅つき大会や、チュ  
リップ栽培等または老人の寛ぐ場  
所として活用されております。今  
ではイベントを開催する度に参加  
者が増え、特に若い世代の方が参  
加するようになりました。

今は特に若い方の自治会離れを  
防ぐため、自治会活動に参加して  
もらう切っ掛けとして防犯パト  
ロールに子ども達も参加しても  
らっています。

2020年は新型コロナウイルス  
の影響で、色々な活動を自粛して  
おりますが、昨年度実績として、  
次のような行事を行いました。

■防犯教室  
総会を行ったあと、参加者の方  
に対して、東部地域振興センター  
に依頼して出張防犯教室を開いて  
いただきました。地区の犯罪発生

レイクタウン七丁目24西自治会  
会長 榎原 久隆

レイクタウン七丁目24西自治会  
は、2018年に設立し、現在3  
期目の比較的新しい自治会です。  
川柳地区の東端に位置しており、  
116世帯で構成されています。  
30代、40代が構成の主体で、比  
較的年齢層が若めの自治会となり  
ます。新興住宅地で家も景観条例  
に則り一定ルールで建てられて  
いるため、地域としても一体感を持  
てています。子育て世代が多いので、  
賑やかな一帯となっています。

自治会のイベントとしては、  
2020年は新型コロナウイルス  
の影響で、色々な活動を自粛して  
おりますが、昨年度実績として、  
次のような行事を行いました。



安心安全の  
まちづくり

りますが、現況のコロナ禍が一日  
も早く終息する事を願いつつ、安  
心で安全な町づくりを目指し世代  
間交流活動を通し地域の発展のた  
め取り組んでまいります。

■町内フリーマーケット  
出店家庭を募り、集会所にて、  
フリーマーケットを行いました。  
本年は10月現在イベントは開催  
できていないですが、役員会を  
ウェブ会議開催したり、自治会  
ホームページを立ち上げ、自治会  
員への周知等で役立てたり、コロ  
ナ禍においてもコミュニケーション  
を取れるような様々な対策をして

■防災教室  
蒲生分署の消防士を招聘し、通  
報、避難、初期消火、救急手当の  
訓練を行いました。



状況について参考になりました。

■町内一斉清掃  
町内や集会所の大掃除を自治会  
員で行いました。

■ハロウィンイベント  
総勢80名近く集まり、仮装をし  
た子ども達が、賑やかに協賛家庭  
を巡りました。

お祝いを贈っています。

90歳以上は毎年）には敬老の日に  
祝を、高齢者（70歳から5歳毎、  
入学（小学1年生）世帯には入学  
域の清掃活動などです。また、新

大泊南自治会  
会長 門田 芳司

私達、大泊南自治会は県立越谷  
北高校の西側、そして新方川を挟  
んで児童館コスモスを望む位置に  
あり、世帯数320を数える中規  
模の自治会です。設立が昭和49年  
（1974年）ですから、もうす  
ぐ50年を迎えようとしている歴史  
を重ねてきた自治会です。

年間の事業として、日帰り親睦  
バス旅行、納涼夏祭り大会、自治  
会単独の防災訓練、餅つき大会、  
年末には地区毎に回り番で地域内  
を循環する夜警（火の用心）など  
を行っています。日常的には毎月  
第2日曜日に実施している資源回  
収作業、隔月に行っている地域全  
域の清掃活動などです。また、新



住みよい地域作り

います。

住民同士の交流が自然に出来る  
ように、自治会活動を通して色々  
ないイベントを行うと共に、安心し  
て暮らせる地域にしていきたいと  
思います。





当自治会は、災害発生に備えて通常組織の他に災害対策本部を組織しています。過去、2015年台風18号の大雨による水害、昨年の台風19号の強風時に災害対策本部を設置して被害状況の確認や災害に対する備えを行っています。組織内には、連絡班、避難誘導班など7つの班を設けており、昨年の防災訓練では大地震の発生を想定してそれぞれの班毎に役割を持って訓練を行いました。写真は、救護活動の訓練風景です。防災用品も備蓄しており、年度予算に組み入れて年々増強しています。

当自治会も少子高齢化の波に揉まれ高齢者世帯が増えて、一時的に加入世帯が減少しました。その後、千間台ハイツ跡の一戸建て住宅に若い世代が移り住んで自治会に加入していただき、今は一緒に自治会活動を行っています。世代

令和3年2月1日発行

間のギャップを埋めるべく年間の事業や日常活動を通じて融合を図っているところです。  
今後引き続き、住みよい、住んでよかったと言われる地域づくりを目指して取り組んでいきます。

躍進する自治会を目指して



赤山町三丁目自治会  
会長 及川 正巳

赤山町三丁目自治会は、昭和52年に発足し現在では、加入世帯が1330世帯を有する大きな自治会となりました。「子どもからお年寄りまで幅広い世帯の明るい交流」をテーマに積極的に活動して



こしがや自治連だより

います。特に子ども達の活動には力を入れており、夏祭りの子ども御輿、山車の町内練り歩き、ハロウィーンパレード、交友倶楽部老人会との公園花植え、伝承遊びなどです。  
他にも自治会行事として、資源回収、アルミ缶、ボトルキャップの回収を行っています。これからも会員間で明るく挨拶のできる活気あるまちづくりを目指して活動してまいります。



また、自治会で行っている災害対策では、①自主防災組織の設置、②自治会内のふれあい広場にて年1回自治会防災訓練、③防災資材や備品等の見直し及び補充、④自治会独自の防災マップを作成し全世帯に配布、⑤班長会議等での会員への防災情報や状況の提供などを行っています。今後とも多くの住民の方々の積極的参加・協力により住みよい安全なまちづくりを目指してまいります。

## 自治会連合会先進地視察研修及び自治会シンポジウムは中止に

例年、1月に実施している自治会連合会先進地視察研修と2月に実施している自治会シンポジウムは、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、今年度は中止としました。

## コロナ禍における自治会活動の紹介

コロナ禍において、各自治会が工夫して実施している自治会活動を紹介します。ぜひ参考にしてください。

- 役員会は、自治会内の広場を利用して露天会議を実施
- 定期総会を書面表決により実施
- 定例会を1日3回に分散して実施
- 集まらないイベントとしてイルミネーションを企画
- 回覧板を廃止し掲示場所での報告。保存が必要だと思われる情報は個々に投函
- 多人数での集会が行えないため、目安箱を設置し、自治会員の意見・提案を管理
- イベントが中止になったため消毒液やマスク、レトルト食品を購入し各戸へ配布
- 役員間の指示、連絡、報告は携帯メールで行う
- Zoomによるオンライン役員会の実施
- 自治会ホームページに情報を掲載し、定例会議に出席していない会員にも情報を周知
- 役員会の内容をメールで送信し意見を伺い、会議は三役のみで実施。決定事項はメールで全戸送信
- マンション管理組合と連携し、Web ツールを利用して打ち合わせ資料をクラウドで管理・閲覧
- ホームページに自治会活動情報等を掲載。活動等への会員からの問い合わせメールにはメールで回答

◆『架空請求』や『振り込め詐欺』が多く発生しています◆  
不安を感じた場合は、すぐに警察署・消費生活センターなどに相談してください。

（事務局）  
（発行人）  
越谷市越ヶ谷四―二―一  
越谷市役所市民活動支援課内  
会長 石崎 一宏